

保健体育科（体育分野）学習指導案

学校名：長崎県立大村工業高等学校

指導者：教諭 山口義男

実施日時：平成29年10月23日（月）6限

実施学級：第1学年 電子工学・建築・建設・化学工学 34名

実施場所：大村工業高校グラウンド

1 単元名

球技（ベースボール型：ソフトボール）

2 単元の目標（高等学校入学年次）

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにする。
- ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開すること。
- (2) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。
- (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

3 単元の評価基準（○は重点的に取り扱う内容）

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元 の 評 価 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ○フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ○作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ○互いに助け合い教え合おうとしている。 ○健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ○仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ○作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見つけている。 ○健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・球技を継続して楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ○球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ○運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ○試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<p>①仲間の技能や体力に応じて力を加減したり、声を掛け合ったり、用具や練習場所の安全を確認したりするなど健康・安全を確保している。</p> <p>②相手の感情に配慮して発言したり、仲間の発言に同意したりして、話し合いに貢献しようとしている。</p> <p>③試合において審判の判定を受け入れたり、相手を尊重したりするなどフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>④チーム練習の場面で、良い点や問題点を指摘しあうなど、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	<p>①健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</p> <p>②作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見つけている。</p> <p>③仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p>	<p>①ねらった方向へステップを踏みながら無駄のない一連の動きでボールを投げることができる。</p> <p>②仲間の送球に対して塁上でタイミングよくボールを受けたり、中継したりすることができる。</p> <p>③ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。</p> <p>④捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。</p> <p>⑤味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くことができる。</p> <p>⑥打球の状況に応じた塁の周り方で、塁を進んだり戻ったりすることができる。</p>	<p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</p>

4 指導と評価の計画（16時間）

時	ねらい・学習活動	関心 意欲 態度	思考 判断	技能	知識 理解	評価 方法
はじめ 2時間	<p>ねらい：○ソフトボールの特性や学習のねらいを理解しよう。 ○中学校までに学習した内容を確認しよう。</p> <p>〈学習の重点〉 ・技術の名称や行い方 ・健康安全 ・基本的技能の確認（投る、捕る、打つ） ・運動観察</p>					
	<p>活動1 オリエンテーションを通して学習の進め方を知る。 ・学習のねらい、進め方等について説明し、理解する。</p>				①	学習カード

	2	活動2 中学校まで学習したことを活かし、ゲームを行う。 ・中学校の学習内容の確認。(投げる、捕る、打つ) ・導入ゲーム。	①			③	学習カード
なか (9時間)	ねらい：○課題に応じた練習方法を工夫して、ソフトボールの基本的技術を身につけよう。						
	〈学習の重点〉 ・動きながらの捕球と送球 ・中継プレイ ・バットでボールをとらえる ・打ったボールを捕る ・走者の進む先の塁へ動く ・状況に応じた走塁 ・体力の高め方 ・合意形成の関わり方 ・公正 ・協力 ・試合の仕方						
	3	○基本的な攻撃・守備を身につけるためのポイントを理解し自己の課題の解決を図る。 活動1 バット操作、ボール操作を身につけ技能を高める。 ・捕球の場所へ最短移動とキャッチング。 ・ボールの高さ、コースにタイミングを合わせて打つ。		①			学習カード
	4	・互いに助け合い、教え合うことへの理解。 ・練習条件に応じた条件付き簡易ゲーム	④				観察
	5	活動2 守備の連系の技能を高める。自分に合った打撃を見つける。 ・中継プレイ、ダブルプレイの動きの確認。 ・自分に合った打撃を見つける。			①		観察 学習カード
	6	・ポジションを決めてバッティングゲーム			③		観察 学習カード
	7	活動3 走塁の仕方を身につける。先の塁に動く守備。 ・状況に応じた走塁の仕方。			②		観察
	8	・状況に応じた守備の連係。 ・ランナーを設定したゲーム。			④		観察 学習カード
	9	活動4 試合の行い方を理解し、フェアプレーを大切にする。 ・ルールやマナーを大切にするこへの理解。			⑤	④	観察 学習カード
	10	・試合の行い方を理解する。 ・合意を形成するための適切なかかわり方についての理解。	③	②			観察
	11				⑥	②	観察 学習カード
まとめ (5時間)	ねらい：○仲間と連携し、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開し、ゲームを楽しもう。						
	〈学習の重点〉 ・合意形成 ・課題の指摘						
	12	○ゲームを通して、チームの課題を解決したり合意形成などの態度を育て、ベースボール型の競技支持性を理解する。					
	13	活動1 仲間と連携したゲームを展開し、自主的に取り組めるようにする。 ・チームの作戦や戦術を選択することについての理解。		③			学習カード
	14	・合意を形成するための適切なかかわり方についての理解。 ・仲間に対して、課題や練習方法の選択について指摘する。	②				
	15	・リーグ戦					
16							

6 本時の展開（4／16時間）

(1) 本時のねらい

- ・バットでボールをとらえることができるようにする。(技能)

(2) 本時の学習評価

- ・互いに助け合い、教え合おうとしている。(関心・意欲・態度)

	学習内容・活動	評価方法及び評価基準
はじめ	<p>1 準備運動、集合、あいさつ、健康観察を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング、ストレッチ、補強運動 <p>2 本時のねらいと評価項目を確認する。</p>	<p>○本時のねらいを確認させる。</p>
	<p>○互いに助け合い、教え合おう。</p> <p>○仲間の課題を見付けて、課題解決に向けて話し合おう。</p>	
なか	<p>3 基本練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール、ゴロ捕球、フライ捕球 <p>4 ボール回しゲーム</p>	
	<p>※協力することの説明</p> <p>◎前時に学習した運動観察の方法を通して仲間の課題を見付ける。</p> <p>◎仲間の課題に応じて、キャッチボールがつながるように様々な工夫をする。</p> <p>⇒課題解決を通して、お互いの信頼関係が深まり、自主的な学習が行いやすくなる。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・守備に必要な塁間の送球・捕球の技術を向上させる。 <p>① 決められた時間内でできるだけ多く塁間をキャッチボールする。</p> <p>② 塁間は1点、対角は2点でカウントする。</p> <p>③ 捕球できなかった場合はカウントしない。</p> <p>5 バッティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッティングの面白さを体感するとともに、打撃力を向上させる。 <p>① グラウンドに等間隔で直線を引き、打球がバウンドしたところで得点を競う。</p> <p>② チーム対抗戦として、打者はティースタンド、トス、スローボールから自分に合ったボールを選択できる。</p> <p>③ 打者のチームメートはアドバイスをを行い、対戦チームが守備等のサポートを行う。</p>	<p>【評価規準】</p> <p>互いに助け合い教え合おうとしている。(態度)</p> <p>【その姿】</p> <p>送球のコツ、捕球のコツを教える。</p> <p>観察してポイントを教える。</p> <p>良いプレーを褒める。</p> <p>【Cの生徒への手だて】</p> <p>実際に協力している生徒の姿を見せる</p>
まとめ	<p>6 整理運動・用具の後片付けを行う。</p> <p>7 本時のまとめを行う。</p> <p>①グループごとにゲームの結果と観察記録を基に生徒同士で課題の確認を行い、本時の授業記録をまとめる。</p> <p>②各グループから学習成果や今後の課題について発表する。</p> <p>③教師の評価を聞く。</p>	<p>学習ノートより評価材料を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業の中で、見付けたことや伝えたことを学習ノートに記入させ、その記載内容を判断材料にする。